

令和7年度第1回釧路市地域公共交通活性化協議会 議事要旨

日時	令和7年6月2日（月）14：00～15：15
場所	釧路市観光国際交流センター
出席委員	28名（うち代理出席4名） 欠席6名
事務局	3名
オブザーバー	2名

1 開会

2 議事

【報告事項】

(1) 令和6年度事業報告及び決算、監査報告について 資料1、資料2、資料3

・事務局より説明

～質疑なし～

(2) 地域公共交通計画策定及び地域公共交通利便増進実施計画策定の業務委託契約
について 資料4

・事務局より説明

～質疑あり～

(吉田委員)

・ 専門部会の中では、商店会から出ている課題等も議論していく必要があると思います。計画や分析にはゴール設定が必要であり、利用者数や利用しない理由に関する調査が毎回同じ結果になってしまうのはもったいない。商店会もお金を出してバス待合所を作ったが、その結果、どれくらいの利用者が増えたのか等も次の計画に活かしていきたい。そのためには、どのような調査や分析を行うのかを事前に打ち合わせをしてから進めていければと思います。

(菅野会長)

・ 調査を実施する前に利用者の意見も取り込んで欲しいということでしたが、その辺りは専門部会での議論になるかもしれませんが、事務局としてはそのような調整をするということによろしいでしょうか。

(事務局)

・ 専門部会の第1回目を6月末7月頭に専門部会の開催を予定しており、委託事業者と事務局で打ち合わせた中で、専門部会の皆さんにもお諮りし、調整を進めていきたいと考えております。

(岸副会長)

・バスの減便の流れがある中で、釧路市としては、例えば10年後にバス路線は残っているのかなど、バス路線の在り方を今回のタイミングで考えていかなければならないと思います。

利用者を増やすという明るい展望も考えたいですが、そこは難しいと考えており、今までは、バス会社から示していただいた利用者のデータや代替路線の有無を基に、影響が少ないから減便するなどの判断をしていましたが、今後は全体的な視点で路線を検討する必要があります。釧路市の公共交通の計画における課題として「シビルミニマム」を設定し、それに基づいてバス会社の人員配置やタクシーやライドシェアなどの交通手段の導入を検討する必要があると思います。

また、都市計画的に見ると、バス路線を集約することも必要だと思います。現在は、釧路駅にバス路線が集約されていますが、そこが市の拠点化というところはないので、このギャップも埋めていかなければならないと思います。

(菅野会長)

・公共交通の議論と並行して、駅の高架化や道路の配置など、関連する様々な課題もありますが、これらの課題を踏まえて、この2年間で将来の公共交通の在り方について議論を進めていきたいと思います。

【協議事項】

(1) 令和7年度地域公共交通計画別紙（仁々志別線）の変更について 資料5

・事務局より説明
～質疑なし～

(2) 令和8年度地域公共交通計画別紙（案）について 資料6、資料7、資料8

・事務局より説明
～質疑なし～

(3) 日本版ライドシェアの導入検討について（阿寒地区） 資料9、資料10、資料11

・事務局及び松岡委員より説明
～質疑あり～

(須田委員)

・実施する事業者様には、ライドシェアの意味を取り違えることなく、法令を遵守したうえで取り組んでいただければと思います。

(菅野会長)

- ・ 今回のライドシェアでは、例えばバス時間に合わないお客さんを空港に送ったりすることもあると思いますので、利用者の取り合いとならないように役割分担は必要となると思います。運用の部分で運輸支局からアドバイス等はございますでしょうか。

(運輸支局)

- ・ あくまでもライドシェアはタクシー事業の補完という形で行うものとなっており、乗合事業とは違うというところで、法令を遵守しながら行っていただきたいと思います。制度面で不明点等ございましたら、運輸支局で受け付けていますのでよろしく願います。

(鎌田委員)

- ・ 北海道内では札幌で導入されておりますが、ほぼ利用がないという状態が続いているという話を聞いております。あまりうまく回っている事例はないですが、実施してみないと分からない部分があるので、ハイヤー協会としても情報収集し、松岡委員と情報共有をしながら進めていければと考えております。

(岸副会長)

- ・ 研究者の間では、ライドシェアは過疎地域や交通空白地域での必要性が高いと言われており、私もそのような見方をしていました。説明の中で、阿寒湖地域では観光客がまだ回復していないとのことでしたが、一方でニセコのように海外からの観光客が多い地域では、空港と観光地をタクシーで移動する必要があると聞きます。阿寒湖も同様に、空港との往来でタクシーが不足しており、その不足分をカバーする意味合いでのライドシェア導入かと思っていたのですが、実際はどうなのでしょう。

(菅野会長)

- ・ 阿寒湖に来られる観光客の方は北海道を周遊し、目的地が複数ある場合が多いです。阿寒湖の後に知床に行ったり、千歳に戻ったりなどルートが様々で、全ての方が釧路空港に戻るかというとそうではないので、その辺りの影響もあると思われます。観光振興担当部長から補足がありましたらお願いいたします。

(冷川委員)

- ・ 副市長から出たお話については概ね同意ですが、一点お聞きしたいことがございます。観光のサイドから周遊を考えると、弟子屈方面に抜ける2次交通についての問題があります。バスでのルートもいくつかあり、交通手段が全くないわけではないですが、今回は圏域が阿寒白糠圏となっており、圏域外ではあるものの、弟子屈を組み込むことは難しかったのか聞きたい点でございました。

(松岡委員)

・ 毎年1月・2月頃には、アジア圏から観光客が多く来ており、阿寒湖温泉を出発して弟子屈の摩周駅まで行かれる方がおります。これは、起点が営業圏域の阿寒白糠圏となっておりますので、問題なく輸送することができます。

また、阿寒湖温泉自体にはタクシー車両が4両しかないため、急な依頼への対応は難しい場合は、阿寒町にある別会社の車両をやりくりすることで、タクシーが使えないという状況にはならないような体制は整えておりますが、その体制の維持が難しくなっており、今回のライドシェア制度導入を考えているところでございます。

(宮下委員)

・ 観光客が阿寒湖温泉地域の売上げの8割近くを占めているので、住民がタクシーに乗ろうと思ってもなかなか利用機会がないから、それを補う意味で今回のライドシェアを行うっていう発想じゃないかなと思ってお聞きしていたんですけども、阿寒町から乗って釧路市までくるというのは対象外なのでしょうか。

(松岡委員)

・ 起点が旧阿寒町になっているので、それは問題ございません。

(菅野会長)

・ どのぐらい需要があるのか取り組んでみないと分からない部分もありますが、既存路線との住み分けという点も考えながら取り組んでいければと思います。

【その他】

(1) その他の質疑応答

(吉田委員)

・ 以前の協議会でもお話ししましたが、バス利用者はGoogleを活用して目的地までの行き方を調べる人が多いです。現在地からバス停までの時間やバスから降りてからの移動時間など分かりやすく表示されますが、検索に出てこない路線が一部ありますので、その改善をお願いしたいというのが一点目です。

また、高齢者はGoogleを使うのが難しい場合もあるので、生活便利帳のようなくしろバス様と阿寒バス様で一つの時刻表みたいなものを作れないのかという要望です。路線が多すぎて全てを網羅するのは難しいとは思いますが、商店会としては、主要な路線とタクシー会社も載っているようなものが作れないか模索中でございます。

もう一点が、最終バスの件です。タクシー代も上がっているのに、未広まで行き、帰りはみんなで乗り合わせて帰るようなことがあると思いますが、交通費の負担が少しでも軽減されると、飲食店の利用も増えると思います。交通事業者の人手不足などの課題も理解しておりますが、だからこそ効率よく経済が回るような仕組みを一緒に考えていければと思います。

(原委員)

- ・ 阿寒バス様のデータは既に Google への反映が完了している状態で、我が社でもデータは作成しておりますが、Google 側での登録には非常に細かい整理が必要となるため、作業が難航しています。例えば、バス停の位置情報を緯度経度で登録しても、「ここは縁石です」や「道路上にあります」といった指摘があり、修正を求められることが多いです。また、バス停の名前についても、こちらで登録した名前と実際の看板に記載されている名前が微妙に異なる場合があると、「どちらが正しいのか」といった確認が必要になります。

これに関連して、私たちがバスロケーションシステムを導入しているユニットランド様と相談をしており、「もくいく」をバージョンアップして、Google の検索にデータを活用するという話もあるのですが、実装はまだ先になりそうです。申し訳ないですが、環境が整備されるまでは、「もくいく」や「PINA」の方で検索していただければと思います。

(菅野会長)

- ・ 「もくいく」や「PINA」は、スマホでアプリを確認する必要がありますが、Google の方が簡単で観光客にも馴染みがあるため、利用者にとっては使いやすいのではないかと思います。

また、最終バスの件については、過去にも実証実験を行った記憶がありますが、実績不足や経費の課題があり、こうした課題は、事業者単独で解決するものではなく、皆さんで議論すべき内容だと考えています。例えば、乗り合いタクシーを導入するのが良いのか、最終バスの時間を9時にするのか11時にするのか、選択肢は様々ですが、皆さんで議論できればと思います。

さきほどの検索システムの課題も含め、岸副会長から何かご意見があれば伺いたいです。

(岸副会長)

- ・ Google マップで「鳥取神社」で検索すると、阿寒バスの午後6時1分発が最終と表示され、JRは新富士駅から歩かなければならないけど午後9時22分発という状況です。表示はされないですが、くしろバスは実際には走っているということですよ。

過去にユニットランドや観光振興機構が主体となって、全道のバス会社のデータをデジタル化し、オープンデータプラットフォーム推進協議会にアップロードしたことがあり、データを活用してくれている企業もありますが、Google ではまだ利用されていないのが現状です。Google マップで検索されない路線は、ないものと一緒とされる時代になっており、それはもったいないので「もくいく」や「PINA」を知るためのきっかけ作りも含めて、利用促進に取り組まなければならないと思いました。

(菅野会長)

- ・ どこまで取り組むことができるのかについては、バス事業者だけではなく、皆さんで議論をしていければと思います。

4 閉会

(菅野会長)

- ・ 以上を持ちまして、「令和7年度第1回釧路市地域公共交通活性化協議会」を終了いたします。